

## 平成16年度病害虫発生特殊報第1号

岡山県病害虫防除所  
平成16年4月30日

- 病害虫名:** クリバネアザミウマ  
*Hercinothrips femoralis* (Reuter)
- 作物名:** ナス
- 発生地域:** 岡山県での初発生を確認
- 初発生  
確認月日:** 平成16年3月26日
- 発生場所:** 赤磐郡山陽町のナス栽培施設
- 発生面積:** ナス苗床2a
- 発生状況:** 平成16年3月26日に上記施設のナス苗において、葉に褪緑斑点やスス状の汚れが発生し、被害部位に黒褐色のアザミウマ類が認められた。本県で未発生のアザミウマ類の可能性が示唆されたため、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼した結果、クリバネアザミウマであることが確認された。
- 形態:** 雌成虫の体色は褐色、体長は1.2～1.5mm(図1)。頭部は複眼と単眼の間が黄色～茶色、前翅は褐色で基部と先端が淡色である。頭部中央と前胸背板の編目状刻紋内部に多数のしわ模様がある。前脚の全てと中脚及び後脚の腿節以外は黄色である。  
幼虫の体色は黄色であるが、腹部背面は排泄物が固着して茶褐色に見える(図2)。尾端部に褐色で球状の排泄物を保有する場合も多い。
- 発生生態:** 本種は熱帯から温帯に分布しており、24 での発育期間は24日とされている。国内では北海道、関東、近畿および四国地方の施設内で発生が報告されている。雄成虫は発見されておらず、雌成虫のみで単為生殖する。従来温室内のみで発生するとされてきたが、近年は野外でも見られる。  
寄主植物の範囲は広く、海外ではナス科、キク科、サトイモ科、バラ科、ユリ科等、21科で報告がある
- 被害:** 本種による被害は、ディフェンバキア(静岡県:平成13年)、ピーマン・シシトウ(高知県:平成15年)、クワイ・アガパンサス(神奈川県:平成15年)で報告されている。本種は葉を舂めるように吸汁加害し、葉に褪緑斑点や排泄物によるスス状の汚れが発生する(図3)
- 防除対策:** 本種は成幼虫ともに各種殺虫剤に対する感受性が高いとされているので、発生した場合はアザミウマ類に登録のある薬剤によって防除を行う。また、本種は寄主範囲が広く、雑草等でも繁殖する可能性があるため、圃場内部及び周辺の除草に努める。



図1. クリバネアザミウマ成虫



図2. クリバネアザミウマ幼虫



図3. ナス苗の被害